



平成 25 年 8 月 21 日
編集：区議会だより編集委員会
発行：千代田区議会
〒 102-8688 千代田区九段南 1-2-1
☎ 3264-2111 内線 3315
ファクシミリ 3288-5920

ホームページアドレス
<http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>
メールアドレス
kugikai@city.chiyoda.lg.jp

*この区議会だよりは、区議会ホームページでもご覧になれます。
区議会ホームページでは、「区議会日程」や「キッズページ」などを掲載しています。また、区議会の最新情報をお届けする「メールマガジン」も発行していますので、どうぞご利用ください。



第 2 回 定例 区 議 会

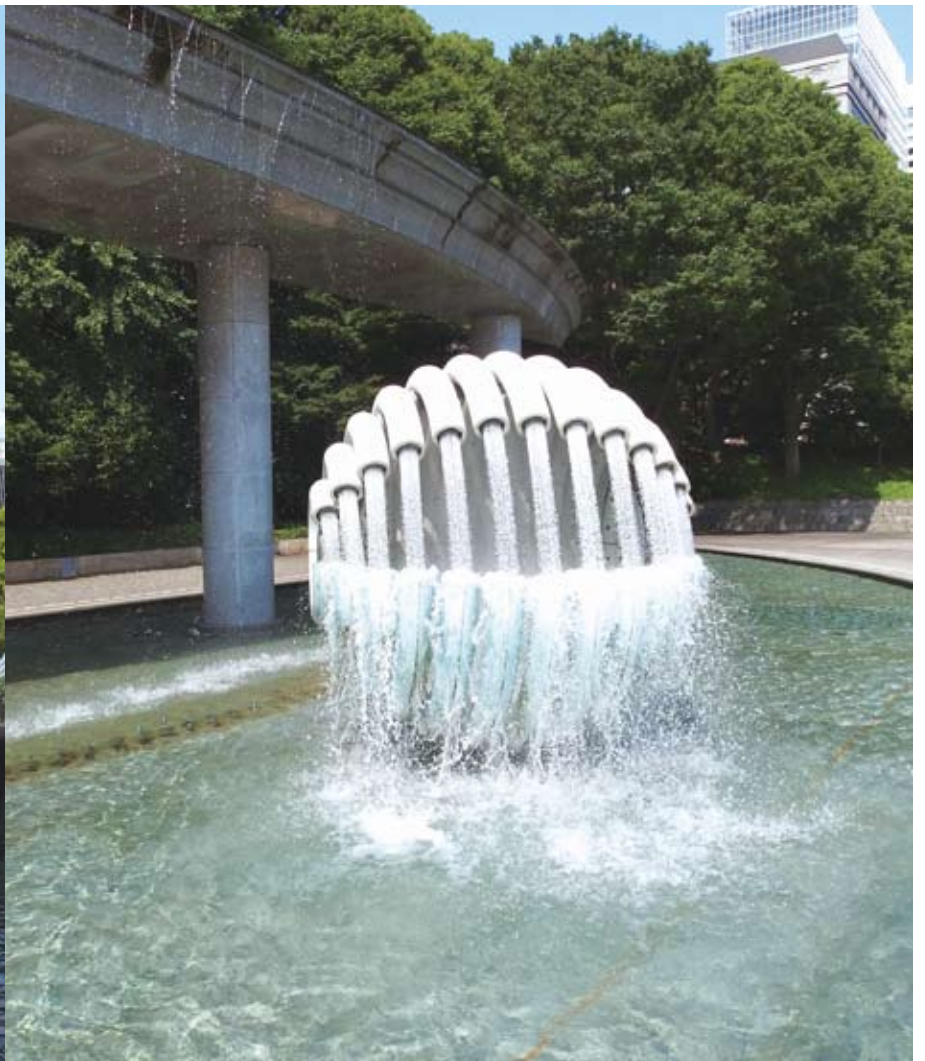
デジタル 写真館



夕景の神田川

— 区内の風景写真等を募集中 —

湯河原千代田荘の借り上げ、都市型軽費老人ホーム・保育所・学童クラブ
整備補助等に関する補正予算を可決！！
軽度外傷性脳損傷者に関する救済のための意見書を提出



和田倉噴水公園

主な内容	●代表質問	2～3面
	●一般質問	3～5面
提案された議案等	●定例区議会活動報告等	5～9面
	●議案の審議結果等	10面
	◆区長提出案件	
	・ 条例	2件
	・ 予算	1件
	・ 契約等	5件
	・ 報告	1件
	◆議員提出議案	
	・ 意見書	1件
	※審査内容の要旨や議決の詳細は本文に掲載しています。	

平成 25 年第 2 回定例区議会は、6 月 24 日から 7 月 9 日までの 16 日間の会期で開催しました。初日の 24 日は、区長の議会招集あいさつの後、東京都後期高齢者医療広域連合議会議員選挙候補者を河合良郎議員に決定しました。

6 月 27 日と 28 日の継続会では、5 会派が代表質問を、9 名の議員が一般質問を行いました。

また、区長から提出された「平成 25 年度千代田区一般会計補正予算第 1 号」等 8 議案は、担当する常任委員会と予算特別委員会にそれぞれ審査を付託しました。

最終日の 7 月 9 日は、まず、委員会で審査を終えた「平成 25 年度千代田区一般会計補正予算第 1 号」等 8 議案を可決しました。

次に、議員提出議案「軽度外傷性脳損傷者に関する労災認定基準の改正と教育機関への啓発・周知を求める意見書」を可決し、第 2 回定例区議会が閉会しました。

第 2 回 定例 区 議 会

(平成25年第2回定例区議会)

代表質問

(要旨)

自由民主党議員団

鳥海隆弘

国の経済財政政策に対する認識と対応について

問 安倍政権が日本再生に向けさまざまな分野に動き出し、都も知事自らその政権の成長戦略に期待し国と連携を取ろうとしている。本区も政府の政策との連携が必要では。国の取り組みを的確に見極め、今後も国や都と連携し、区民目線に立った適宜適切な施策を実施していく。

第三次基本計画の策定について

問 ①基本計画改定には、事業部の横断的な体制が必要では
②多様な意見・価値観を持つ区民世論を計画の改定に活用し、区議会とも真摯な議論を積み上げるべきでは。
答 ①分野横断的視点が必要な政策課題の検討と基本計画の改定検討との整合を図るよう、全庁的に連携を取り作業する②幅広い区民の意見把握に努め、計画の方向性を検討する。区議会でもさまざまな観点から議論いただきたい。

第三次住宅基本計画の策定に向けた住宅施策について

問 区が目標とした人口5万人は回復したが、マンシヨン施策・借り上げ型区民住宅のあり方、開発協力金の活用方法等課題が山積している。第三次住宅基本計画策定にあたり、どのような視点で住宅施策を展開していくのか。
答 多様なライフステージ・ライフスタイルに応じた居住支援を図り、より多くの区民が自ら選択・享受できる仕組みを構築していく。期間満了後の借り上げ型区民住宅のあり方についても、公平性・妥当性の観点から対応を図っていくことが重要と考える。最終的には「基本計画改定検討会」の中で、基本計画との整合を図りながら策定していく。

生活困窮者対策について

問 生活扶助基準の見直しに伴う他制度への影響について、本区ではどのように取り組んでいく考えか。
答 国の制度との整合性等も考慮しながら、生活扶助基準の見直しの影響を受ける方々の生活状況は非常に厳しいとの認識に立ち、適切に対応していく。
その他、「南海トラフ巨大地震対策」について質問がありました。

新しい千代田

はやお 恭一

自転車施策について

問 本区における放置自転車の増加、走行空間の確保、利用者の乗車マナー等、喫緊の解決が必要な自転車施策について、昨年の定例会で答弁のあった次の点の進捗状況を問う①区長がリーダーとなり部署間の連携を図り課題に取り組み全庁的な対策会議の設置②「自転車利用ガイドライン（次期交通安全計画）」の本年7月目途の策定。

答 ①区長をリーダーに全庁的検討組織を立ち上げ、地域特性・利用実態等を把握し課題の抽出や整理に努めた。今年度は学識経験者や国・都の道路関係者、鉄道事業者、区民代表等による専門部会を立ち上げ議論している。②都の「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の施行に伴う新たな動向把握や調整等に時間を要しているが、ガイドラインの早期策定に向けて取り組む。

認知症対策について

問 ①認知症発症前の早期発見・早期連携に重要な「認知症初期集中支援チーム」や「認知症地域推進員」の本区の設置状況は②区独自の施策を含め、認知症に対する地域ネットワークや支援機能をどのように強化するのか。
答 ①本区では「認知症コーディネーター」「認知症支援チーム」を設置、認知症の「早期発見の仕組みづくり」「支援サービスの構築」を図る②（仮称）高齢者総合サポートセンターの開設に伴い、地域の医師会・九段坂病院・行政のコーディネート機能の有機的な連携を目指し鋭意検討を進める。

子ども・子育て支援新制度について

問 新制度に伴い、保護者も参画する「地方版子ども・子育て会議」の設置が必要①本区の検討状況及び具体的な構想は②認可保育所の今後の誘致についての考えは。
答 ①現行の「次世代育成支援推進会議」を発展させる形で設置。必要な議論を行っていく。来年度早々に「子ども・子育て支援事業計画」を策定する②区立認可保育所は現行体制を堅持する。認可だけでなく認証・スマート保育等さまざまな保育の取り組みが必要と考える。

日本共産党区議団

木村正明

憲法第96条の改定について

問 区長には憲法尊重擁護義務がある。権力を縛るという近代の立憲主義並びに第96条改定の動きへの見解は。
答 今回の改正論議が、第96条の改正に特化され、一般法よりも厳格な手続きを求める規定そのものを緩和するような論議のみであるならば、若干違和感を持っている。

空き家対策について

問 ①区内の空き家率が高い現状をどう認識しているのか
②空き家の実態調査を行い、対策を検討すべきでは③マンシヨンの過剰供給を抑制するルールを検討すべきでは。
答 ①不動産市場における需要と供給のバランスや事業性等に起因していると認識②区としても必要性を認識しており、調査方法を含めて検討している③これまでの住宅施策の経緯を踏まえ、住宅付置・開発協力金制度のあり方の中で検討していくものと考えている。

脱法ハウス問題について

問 ①脱法ハウス居住者の住宅確保に向けて、親身に対応すべきでは②「住宅確保要配慮者」が住宅を確保できよう、民間の空き家の借り上げ等、公的住宅の供給を具体化すべきでは③若年の単身者も申し込めるよう区営住宅条例を改正すべきでは④生活保護制度について、生活保護費の財源は全額国庫負担とし、住宅扶助費を引き上げることとを国に求めるべきでは⑤区や宅地建物取引業者等で構成する「居住支援協議会」を設置すべきでは。
答 ①柔軟かつ懇切丁寧に相談を行っている②既存のストックを活用し、自らが選択した住宅に対する支援が重要③現時点では要件を改める考えはない④政府の社会保障制度の議論の推移を見守っていく。生活保護費の全額国庫負担は、特別区長会として国へ要望活動を行っており、今年度も要望書を提出予定⑤不動産仲介業者等と連携し、住宅確保要配慮者に対して民間賃貸住宅への入居支援を行っている、当面はこうした取り組みを継続。協議会については、他自治体の動向等を把握しながら調査・研究していく。

その他、「職員定数」について質問がありました。

(平成25年第2回定例区議会)

代表質問

(要旨)

ちよだの声

小林 たかや

区内における居酒屋等の客引き行為について

問 ①区内でも居酒屋等が客引きを行い、区民等に迷惑をかけている実態があるが、区に苦情は寄せられているのか。また、客引きが悪質なのは区内のどの地区で、どの程度深刻か②新宿区では、居酒屋やカラオケ店等の客引きを全面的に禁止する「新宿区公共の場所における客引き行為等の防止に関する条例」が9月に施行される予定だが、区民等からこのような条例を制定してほしいとの要望はあるのか③健康で安全で文化的な区であるという「千代田ブランド」を維持する観点で、本区でも同様の条例を制定する必要があると思うが、区長の見解は。

答 ①②区内一部の繁華街において客引きの目立つ地域がある。町会等から状況改善を求める声が寄せられており、客引き等を規制する条例の制定を求める意見も頂戴している③他区の条例や、条例推進の取り組みを検証し、どのような対応が可能であるのか検討を進めている。

都市公園の時間管理について

問 ①芳林公園で時間管理を試行しているが、利用者は時間管理をどう受け止めているか。意見や苦情等は②他の自治体で都市公園の時間管理をしている例は。本区としてどのような経緯で開始したのか③庁内では、どのような議論がなされ、どう対処しようとしているのか④区民に理解・周知されるためには、管理時間を幅広く検討する必要があると思うが、新たな検討会等を立ち上げてはどうか。

答 ①町会や学校等から意見をいただいているほか、公園内への張り紙等により意見把握に努めている。今後はアンケート調査等により更なる意見把握に努めていく②台東区、中央区、文京区、新宿区が夜間の利用制限を実施している。また、芳林公園で時間管理を始めた経緯は、夜間利用者による騒音やゴミの散乱等が発生しており、地域より利用制限の必要性が示されたため③災害時等の公園利用や、他の公園への影響等が議論として挙がり、試行期間の中で実態等を把握しながら本格実施に繋げていくことが確認されている④整備協議会を利用協議会に移行し、利用のあり方を検証していく。

行革クラブ

うさみ 正記

電力不足対策と環境問題について

問 ①千代田区内の大学で、建築物環境評価基準を使い、企業と環境対応のまちづくりを研究しているグループがある。行政もこうしたプロジェクトに加わり、産官学が協力することで大きな成果が期待できるのではないかと、積極的に民間の活力を行政に生かすという観点から、大変有効ではないか②一昨年の定例区議会において、皇居のお濠の水が汚れ、夏は悪臭を放ち、周辺住民は困っていると指摘したが、住民からは「何も改善されていない」等の声をいただいている。その間、どのように対応したのか。

答 ①建築物の環境性能を評価し、認証する制度の普及が進んでおり、区内大学でも独自の評価・認証制度の調査・研究がなされていることは承知している。民間等の環境評価の動向も注視し、建築物環境計画書制度を検証していく②管理者である環境省や東京都に対して水質検査結果を報告し、苦情等の内容も随時フィードバックしている。また、定期的に水面清掃を行っている。東京都は水質浄化に向けて、悪臭の大きな原因である下水道から濠への汚水流入の抑制対策を進めており、今後改善の見込み。

人口増加に伴うインフラ整備について

問 区内では、計画中のものも含め40棟程のマンション建設が予定されているが、待機児童等の問題が多々あるため、地域ごとの人口変動に敏感でなければならない。近年、住民の増加傾向が顕著であり、特に小学校、幼稚園等のインフラ整備は十分なのかとの心配の声がある。そこで、①インフラ需要に対する備えを予測する体制及び備える体制は②地区ごとのマンション建設の予定数、それに伴う人口増加の見通しや学校等に必要となる対応は。

答 ①②個々のマンションの供給動向や入居世帯の人数等の的確な予測は困難だが、人口動態の変化等を統計的に捉えて、将来人口や世帯数を推計する中で、区内で供給された大規模マンションへの転入世帯の特徴等も踏まえた人口推計を行った。本区は人口規模が小さいことから、例えば出張所単位の推計は困難だが、指摘を取り入れ、麹町・神田地域ごとに将来人口推計を実施する予定。

(平成25年第2回定例区議会)

一般質問

(要旨)

自由民主党議員団 永田 壮一
公立学校での英語教育について

問 ①英語教育の早期化、教科化についての考えは②A L T (外国語指導助手)派遣の成果は③小学校高学年英語必修化後の教育内容、指導方法は④国際社会で活躍するには、まず日本人としての誇りを持ち、自国の文化を理解し愛着を持つことが大切だと考える。日本の伝統文化の指導・国語力向上のための取り組みは⑤インターナショナルスクールの児童との交流機会は。

答 ①②既に保育園、幼稚園等にA L Tを派遣しており、英語に親しむという観点から効果がある③以前から発達段階に応じた英語教育を実施。国際教育推進校を指定し児童の関心を高める取り組みを実施④茶道、華道、和太鼓等を体験することで日本の伝統文化の良さを味わい、大切にすることを育成。今後も国語教育の充実を図る⑤事例研究する等交流の可能性を検討。

予防接種行政等について

問 ①本区の基本方針は②予防接種の周知方法は③接種率向上の対策、特に子供、転入者の予防接種漏れへの対策は④婦人科のがん検診推進の必要認識は⑤職場での集団予防接種の機会を確保すべきでは。

答 ①予防接種は予防医療の最も効果的な薬だと考え積極的に取り組む②③冊子を作成し配布。定期予防接種は個別通知、任意予防接種は広報等にて周知④更に受診率向上に取り組みが必要であり機会を捉え周知する⑤有効な手段だがリスク対応の点から慎重に対応。



昌平こども会すいか割り

(平成25年第2回定例区議会)

一般質問

(要旨)

日本共産党区議団 飯島和子

給付型奨学金制度創設について

問 ①国際人権A規約第13条が定める中等・高等教育の無償化の漸進的な導入により、能力に応じ、全ての者に均等に機会が与えられるようにすることへの見解は②区として制度創設の働きかけを国に行うべきでは③お金の心配なく、高校・大学で学べるよう、独自の制度創設の検討を求める。当面、必要保護世帯の高校生対象の制度の早期実施を求める。

答 ①経済的理由で教育を受ける権利が奪われることがあってはならないと考える②③国では、低所得世帯の生徒に対し、授業料以外の教育費負担軽減のため、制度設計を検討中であり、区単独での制度創設・早期実現の働きかけは行わず、国の動向を見極めたい。

認可保育所持機児ゼロのために

問 ①認可保育所の入所を待っている子どもは神田、麴町地域それぞれ何人か②国が行った21世紀出生児縦断調査でも、月齢6ヶ月の子を持つ親が利用したい保育サービスは公立認可保育所が7割超である。なぜ保護者が公立認可保育所を切望するのか、理解しているか③認可保育所持ちの実態を精査するとともに、認可保育所の増設を求める。

答 ①入所待ち申請数は6月1日現在、麴町地域87名、神田地域74名②③認証保育所の保育料を認可保育所より廉価にする助成策を講じ、認証保育所が有力な選択肢となるようにしている。仕事と育児の両立支援を図るため、さまざまな保育サービスを活用し、入所希望に対応していく。

行革クラブ 安岡 けんじ

区民の地域活動への参画に向けた区の役割について

問 ①「お互い様」という気持ちでの地域活動への参画が、良好なコミュニティ形成の基礎となり区政参画・行革に繋がる。行政の役割は②地域活動の担い手が不足している中、地域活動への参画・区政参画と負担の軽

減とのバランスについての考えは③道普請の例のように、新住民や学生、区内企業を巻き込んだ地域コミュニティの形成への考えは。

答 ①参画と協働の地域づくりこそ真の意味で質の高いコミュニティづくりになると考える。地域の方々が連携して課題に取り組めるよう、施策の中で考えをまとめる②「共助」が基本。行政は側面的な支援を推進すべきと考え、具体的な対応策の検討を進め、早期具体化を進めていきたい③本年7月「地域コミュニティ活性化検討委員会」を設置し、「地域自らの力で地域を守る」基本的考えに立ち、側面的支援に向け施策の具体化を進める。

「振り込め詐欺防止」について

問 高齢者をターゲットにした犯罪「振り込め詐欺」等が多発している。身近な行政機関として、区民にこれ以上の被害者を出さないためにも、広報紙での注意喚起だけでなく、具体的な取り組みが必要ではないか。

答 警察はもとより区も被害の未然防止に努力している。地域に積極的に出向く他、電話用トラブル防止ステッカー等の啓発を行う。今後も関係団体と連携を図り、あらゆる機会を捉え、被害未然防止に鋭意に取り組んでいく。



千代田区納涼のタベ

自由民主党議員団 内田 直之

千代田区独自の環境政策について

問 ①電力エネルギー政策と気候変動対策は一体的に取り組まなくてはならない。地域防災・危機管理を踏まえた、区独自のエネルギー政策への見解は②環境モデル都市行動

計画の期間が本年度終了する。第2期行動計画の策定にあたり、更に高い目標や先駆的な取り組みは計画されているのか③環境評価制度の改善は進んでいるのか。

答 ①未利用エネルギー等の有効活用による自立分散型の供給体制構築が重要②第1期計画の事業等の課題整理を行っている。その結果も踏まえ外部有識者の意見も伺い、先進的かつ実現性の高い計画の策定に努める③CASBE等他の建築物評価認証制度と比較するため、関係団体とヒアリング等を実施。

想定される巨大地震対策について

問 ①本区の地震対策は建物の耐震対策そのものであり、耐震化率100%達成が被害者ゼロを実現する絶対条件となる。耐震改修助成金の限度額の増額により、耐震化の更なる推進を図るべきでは②老朽危険家屋は地震発生時の倒壊の危険やごみ屋敷化等、多くの問題を抱えている。本区の現状は。また、行政代執行を盛り込んだ条例化が急務では。

答 ①更新の必要性が高いものは、耐震性能向上に向けて支援のあり方を検討していく必要がある②本年1月から3月に木造建築の実態調査を行ったが、緊急を要する著しく危険な建築物はなかった。引き続き危険家屋の把握に努め、必要に応じ制度設計を行う。

新しい千代田 河合 良郎

区立学校における英語による「コミュニケーション能力の向上教育」について

問 ①「英語が使える日本人」の育成のため行動計画について、本区の取り組み状況は。また、行動計画に沿った「英語教育改善実施状況調査」の状況や「外部検定試験の活用による英語力の検証」報告書の公表を踏まえての成果と課題や問題点、今後の方向性は②新学習指導要領が全面实施され、小学校第5、6学年で年間35単位の「外国語活動」が必修化されたが、本区の取り組み状況は③教育課程特例校制度を活用し、幼稚園等へのネイティブスピーカー導入や、インターナショナルスクールを創設し、文法、文章等関係な

く相手とのコミュニケーションを取れる英語を千代田区として行っていく気持ちはあるか。

答 ①全英語科教員に、東京都の「英語教員集中研修」を受講させ、指導力の向上に努めてきた。また、授業の半分以上を英語で指導する教員が3割を超えているが、その状況に大きな変化はない。高校生の大半は、身近な話題については英語で理解・表現できるが、社会性のある話題については不得手である。今後、指導方法の工夫改善に向けた研修等を実施していく②歌やカルタ、ビンゴ等のゲーム、インタビュアー、自己紹介や将来の夢のスピーチ等、さまざまな活動を工夫して実施している③区では、小さい頃からコミュニケーション能力の向上や英語力の育成活動に取り組んでいるが、制度の活用については、英語以外についても考えていく必要があるため、教育委員会の中で慎重に検討していく。



ちよだの声民主 岩 佐 りょう子

法曹有資格者の職員登用を視野に入れた活用について

問 ①さまざまな事案に関し、法律専門家をどのように活用しているのか②他自治体で実施している、任期付き職員としての弁護士導入を検討してはどうか。クレーマー対応・トラブル対応のように日常的かつ迅速な対応が求められる現場の法務強化についての考えは③法務強化の一環として、研修講師の派遣要請も考えられるが、現在そのような機会はあるのか

一般質問

(平成25年第2回定例区議会)

(要旨)

④特別区職員研修所の弁護士による研修に、本区職員は部署等固定化せずに参加できるのか⑤自治体現場で立法趣旨と判例から独自の法律解釈を可能にするような研修等、テーマを特化せず専門的法的スキル向上を目指した研修等を検討してはどうか。

答 ①訴訟事件や法的解釈等については、特別区人事・厚生事務組合という一部事務組合の法務部の適時適切な協力を得ながら事務を進めており、今後もこの方向で法務関係の事案にあたっていく②法的専門知識が必要な事案の増加が見込まれるが、現段階において、任期付職員の採用は考えていない。法務担当職員や一部事務組合法務部の協力を得て対応していく③外部の専門的知見の活用については、法務職のみならずさまざまな専門分野についてトータルで考える必要がある④⑤地方分権の時代、自治体職員の法務能力の向上が求められ、職員を限定せず実施している。今後も法務のみならず各業務に精通した職員を育成していくよう取り組んでいく。



新しい千代田
千代田区の人口について
林 則 行

問 ①本区の人口のピークは何年に何万人になると推計しているのか②本区の最上位計画である基本構想や基本計画の目標年次を、人口ピークアウト時に設定するのが最適と考えるが、今後改定する計画の目標年次の設定は③本区の人口減の経験を踏まえて施設整備等をしていかなければならない。人口構成も

含め区民に分かりやすく説明し、施策展開していく必要があるのでは。

答 ①区独自で実施した将来人口推計を検証。シナリオにもよるが平成32年に人口6万人に達する見込み。平成34年以降も人口増加が続くと考える②新しい基本計画の期間については人口推計結果を踏まえつつ慎重に検討③今年度策定予定の「(仮称)公共施設白書」で公共施設の状況等を整理し、人口推計結果等も踏まえた公共施設の将来の課題を示し、今後の方向性の検討に活用していく。

千代田区内共通商品券について

問 ①商品券事業のうち、区の支出総額は②費用対効果は③区内事業者にとって、共通商品券は最善の商工施策だったのか。

答 ①プレミアム付商品券分の3カ年5,800万円②発券枚数は累計で60万枚。換金は59万2,202枚で、約5億9,200万円余が区内加盟店で消費されたが、流通データの分析結果では飲食店を除く区内個人商店にはほとんど効果が及ばず十分ではなかった③一過性の共通商品券よりも、繰り返し買い物することができると事業が、より効果的であると認識。

新しい千代田
中学校・中等教育学校の学力向上について
高 澤 秀 行

問 ①電子黒板の利用状況を、教員研修の状況も含め問う②本区では「千代田区子育て施策の財源の確保に関する条例」を制定するほど、子育て支援を重要と考えているのは理解できるが、教育・人材育成には更なる予算の増額をすべきでは③私立学校の多くは土曜授業を行っている。国の方向性が示された今、区として土曜授業を積極的に導入する考えはあるか④麹町中学校の国際教育特別推進校、神田一橋中学校の情報教育特別推進校としてきた位置付けは現在どうなっているのか。その成果は⑤本年3月に発表されている各校の卒業生の進路状況を見ての理解は。

答 ①デジタル教科書と電子黒板の併用により活用頻度も高まってきている。タブレット

トPCと電子黒板併用の利用方法を含め、計画的な教員研修を実施する②23区で最も教育のために充実した支出を行っている。今後も適切な教育施策の実施のため予算措置を講じる③東京都の考えを踏まえ、地域社会との関連、関係性や、生徒等の実態、保護者の意向等を踏まえた校長の経営方針を尊重していく④麹町中学校では英会話推進プランを実施し、英語力の向上が図られており、神田一橋中学校ではICT機器を積極的に活用し、生徒の主体性・意欲・関心を高めている⑤特色のある学校づくりを今後も積極的に支援するため、さまざまな高等学校や、希望する大学等へ進学できたことと認識している。今後も、将来の自分に合った進路実現のため、支援をしていく。



ちよだの声
耐震診断助成の基準緩和について
寺 沢 文 子

問 ①特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業で、今後の診断と対処が求められる建物は何棟あるのか。その促進策は②マンション等の耐震診断、改修アドバイザー派遣制度があるが、利用を促進させるためのインセンティブは③建築物上層階部分にオーナーが居住している建物改修の24年度実績はゼロだが、原因をどのように捉え実績を上げてい

くのか④改修に至らなくとも、比較的簡便に既存住宅内に設置することのできる耐震シェルターや耐震ベッドの実績がないが、周知はどうしているのか⑤区内中小ビルにはプレハブが屋上にある建物が多いが、耐震性の確認のため、耐震診断助成の対象とするよう基準の緩和を図ってはどうか。

答 ①対象建物約240棟のうち約60棟が未実施。東京都と連携して戸別訪問を行い働きかけの強化とともに、診断後の設計・改修についても丁寧に説明する②アドバイザー派遣、耐震診断、補強設計、耐震改修に至るまで他の自治体と比べて厚い助成制度へと段階的に拡充してきた。更に周知活動に務めていく③オーナー住宅付建築物の耐震化は、改修工事中のテナントとの問題から、踏み切れないという事情があるが、事例を紹介する等、今後も周知活動と実態把握に努める④改善の策としての利用を促していく⑤建築基準法に不適合な建物は診断の余地なく是正または除去されるべきものであるが、現実的対応として、是正することを前提とした制度、仕組みについて検討をしている。

定例区議会活動報告

常任委員会

常任委員会では、区長提出案件7件を担当の委員会で審査しました。
議案の審査結果をご紹介します。
なお、審議結果は10ページをご覧ください。

企画総務委員会

「災害対策用備蓄物資(食料)の購入について」は、災害対策用備蓄物資として、ミネラルウォーターや缶詰等を購入するために議会の議決に付すものです。

審査経過

今回契約した備蓄物資は、地域防災計画において想定している避難者数の3日分に当たる物資の入れ替えなのか、新たに追加する分なのかという質疑があり、執行機関の回答から、3日分の物資の更新に加え、帰宅困難者

メールアドレス kugikai@city.chiyoda.lg.jp

ホームページアドレス <http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

対策として新たに追加する物資が含まれていることが明らかになりました。

これに対し、委員からは、5月に国の中央防災会議の検討会議が「南海トラフ巨大地震対策」として地震・津波対策等をまとめた報告を公表し、その中で、災害時の備蓄は1週間分以上が必要だとされているが、区としては、この報告に対して、どのような対応を図っていくのかという質疑があり、国や都の方針を注視し、千代田区の地域特性を踏まえながら、物資の備蓄について対応することが明らかになりました。

「区立神田一橋中学校改修工事請負契約」、「区立神田一橋中学校改修電気設備工事請負契約」及び「区立神田一橋中学校改修給排水・空調設備工事請負契約」は、いずれも、区立神田一橋中学校の改修に関する工事請負契約を締結するために議会の議決に付すものです。

△審査経過▽

質疑の中で、従前から、入札のあり方を含む契約制度については、地域貢献の視点等も考慮できるような制度の必要性について、繰り返し議論されていたこと。また、これら3議案の中には、積算から入札までに数カ月を要し、その間に積算単価の大きな変動があったという事情があるにしても、入札辞退の業者が多い入札結果の議案もあることから、工事の履行確保には、十分な対策をとる必要がある等の意見が出され、執行機関に対し次の点について、今後適切な対応を求めることとしました。

①契約制度の基本を踏まえつつも入札制度について、これまでの議会の議論を踏まえ、地域貢献・社会貢献の視点や履行実績の評価の反映等、制度改善の検討を行うとともに、その検討状況について、議会に報告すること。特に、入札は価格競争がすべてではなく、請け負った工事が良好に行われたかどうかについても評価する必要がある、その結果が次の入札にも評価の一つとして、盛り込まれるべきであること②区立神田一橋中学校の各工事請負契約については、瑕疵や品質低下のないよう、適切な工事監理を行い、履行の確保を図ること。

その他、「公職選挙法関連の改正」、「千代田区自転車利用ガイドラインの検討状況」等について、執行機関から報告を受けました。



生活福祉委員会

「損害賠償請求事件に係る訴えの提起について」は、生活保護受給者に保護の要件を偽った者があることが判明したため、生活保護開始当初の平成13年11月に遡って「3,037万2,505円」及び利息の損害賠償請求の訴えを提起するものです。

△審査経過▽

質疑の中で、①不正受給が発覚した経緯及び議会への報告がこの時期になったことについては、定期的な金融機関調査により、1,000万円余の出金記録が明確になったこと、また、平成24年に金融機関調査同意書の撤回や学資保険の満期日等の問題もあり、確認に時間を要したこと。更に、民法による裁判を行わなければならぬ状況及び資産を口座から引き出して隠されることも起こりうるため、今回は限られた職員しか情報を持つことができない状況であり、その中で、仮差押えができたこと②先方から協議の申し入れがあった場合の和解等の可能性については、現在、請求額を減額する状況ではないが、今後の状況に応じて予め議会に報告・相談しながら進めていくこと③本件は刑事事件の詐欺としても考えられることについては、生活保護法の中にも罰則規定はあるが、今回の事案は刑法の詐欺罪にもあたる可能性が高いため、所轄の警察署と協

議を進めていること等が明らかになりました。その他、今回の問題が生活保護費受給の申請を検討している区民にとって、抑制につながるようなことがないよう十分考慮すること。また、今後、このようなことが起きないように、申請時における提出書類の必要性や生活保護の基本姿勢等について意見がありました。

「千代田区民保養施設条例の一部を改正する条例」は、これまで、委員会として積み上げてきた検討結果や湯河原千代田荘を利用している団体等の意見、「千代田区保養施設運営に関する意見書」等を踏まえ、湯河原千代田荘の「公の施設」としての位置付けを廃止するものです。これにより、現行の業務委託を止め、「借り上げ方式」を導入します。

△審査経過▽

質疑の中で、借り上げ方式への変更は経費の節減となるが、それがサービスの低下につながるのではないかとといった意見に対し、「区民等、利用者にとつての利便性はこれまでと同様であり、サービスの低下は招かない」との答弁がありました。また、今後も区民にとつて、より良い施設の運営形態を検討していくこと。更に湯河原千代田荘だけでなく、保養施設全体として今後も検討を進めていくこと等が明らかになりました。

その他、「千代田区立高齢者在宅サービスセンター条例を廃止する条例」の議案を審査しました。

※「損害賠償請求事件に係る訴えの提起について」は7月25日の委員会で執行機関から以下の報告がありました。本件は7月9日の本会議で可決されましたが、その後、生活保護費を不正受給した当事者から、全額を返還したい旨の申し出がありました。本区では、まず財産の仮差押えを撤回し、その後、利息を含む生活保護費全額が返還されたことにより、訴えの提起を行わないことになりました。



環境文教委員会

今定例会では陳情審査1件と執行機関から報告が8件ありました。

主な報告として、「使用済小型家電モデル回収事業の実施について」は、小型家電リサイクル法の施行に伴い、希少金属の回収と再利用の促進を目的に区が不燃ゴミとして処理されている、使用済小型家電製品を回収するもので、区施設16ヶ所に回収BOXを設置し、7月末から来年3月末まで実施し、平成26年度の本格実施に向けた検証を行うとのこと。

また、「災害応急対策業務の職員別担当制について」は、大規模災害時に、区は災害対策本部を設置し業務にあたることとしているが、従来職場ごとに業務を分担していたものを原則として職員ごとに割り振る担当制とすることにより、職場を異動しても業務内容が変わらず、職員個々の業務習熟度の向上や避難所運営での地域住民との継続的な連携が図れるようになるとのこと。

「区立麹町保育園の整備について」は、区の基本的な整備方針を近隣住民や保護者等に説明し、意見交換を行い、昨年の当委員会での整備シミュレーションより整備面積が広がったとのこと。これは、現在の三番町仮園舎より狭くならないようにしたことや敷地形状が成形でないことによるものです。今後は、構想図等を近隣住民や保護者等に示し、意見交換を行い、プロポーザル方式による設計業者の選定を予定しているとのこと。



「社会を明るくする運動」街頭パレード
警視庁鼓隊

「九段小学校・幼稚園の整備について」は、関東大震災の復興小学校である九段小学校の施設整備について、協議会での議論や関係者の意見等を整理し、まとめたとのこと。今後、歴史的建造物である当施設をどのように保存しつつ、整備するか等の最適な方針を決めるためにプロポーザル方式で設計業者を選定することです。

「神田一橋中学校改修整備について」は、竣工後30年近くが経過し、内装や配管、空調等の老朽化が進み、大規模な設備の更新が必要となり、実施されるとのこと。改修の基本方針は、伝統の継承と未来の創造の二つを実現できるための基盤としての校舎となることで、和文教室の整備やICT機器の活用による利用改善を図ることです。

その他、幼稚園・保育園等の在籍状況や小・中学校等の児童生徒数の推移、南海トラフ巨大地震等による東京の被害想定等の報告を受けました。また、「分煙社会実現に向けた陳情」の審査を行いました。



「社会を明るくする運動」街頭パレード
警視庁カラーガード隊

特別委員会

公共施設整備特別委員会

当委員会では、企画総務委員会から送付替えになった陳情1件の審査と執行機関から2件の報告がありました。

「神田保育園の移転に伴う仮園舎の再利用についての陳情」の審査では、今までの経過説明を受けました。その中で、現状では区として再活用が予定がなく、建物の維持管理に月20万円近くの経費がかかること。仮園舎周

辺地域での保育需要は充足されていることから、保育所としての再利用は困難であることが明らかにになりました。

次に、執行機関から、今年度作成を予定している「(仮称)公有財産白書」について報告がありました。白書では、建物に限らず道路、橋梁等を含む区有施設全てを対象に、利用状況を含めた現況、維持管理に要するコスト等を明らかにし、今後の計画的な施設整備や維持をする際の基礎資料としたいとのこと。作成スケジュールとしては、7月に作成支援の委託業者を決定、12月に中間報告を行い、今年度末に完成・公表を予定しています。

委員会では今後、白書の作成状況に併せて、区有財産の現状や課題を確認し、改定される基本計画の期間中に整備すべき施設については、財政状況等勘案しながら具体的な検討を行うことを確認しました。

駅及び駅周辺環境整備特別委員会

当委員会では、前期からの申し送り事項を確認するため、執行機関から以下の3地区について、これまでの経緯を含め、報告を受けました。

「飯田橋駅及び駅周辺のまちづくり」では、飯田橋駅西口地区市街地再開発事業の進行状況等について、この再開発事業全体の完了は平成27年2月の予定であることや、JR飯田橋駅ホームの延伸等について報告がありました。また、委員からは今後、再開発を見据えた人口増による飯田橋駅の安全性及び各開発整備の関連付けや整備の中での位置付け等について質問がありました。

「御茶ノ水駅及び駅周辺のまちづくり」では①神田駿河台地域まちづくり協議会②淡路地域街づくり計画推進協議会③区を取り組み④周辺開発事業についての進行状況及び今後の取り組み等について報告がありました。

「神田駅及び駅周辺のまちづくり」では、神田駅周辺環境整備懇話会の設置からこれまでの取組みについての概要及び現況の説明がありました。その中で、8月上旬には今年度竣工予定である神田駅の改修状況や道路の整備

及び内神田三丁目地区地区計画の進行状況を説明する予定であるとの報告がありました。また、委員からは重点検討区域を指定しているが、その根拠や懇話会における商店会等の出席率の低さについて等の質問がありました。

商工観光施策特別委員会

執行機関から、都心4区(千代田区・中央区・港区・新宿区)が連携を図り、相互の観光資源の魅力を引き出すことで、スケールメリットを生かした都心区ならではの観光資源を提案するため、「観光振興連絡会議」が立ち上げられたことが報告されました。

質疑の中で、都心4区が連携するとしているが、スカイツリーが存在を無視して東京の観光は語れないのではないか、連携する自治体は4区に限定されたものなのか、といった意見が出され、連携の方策については、区を限定することなく、柔軟な対応が図られることが明らかにになりました。

また、スケールメリットとは、具体的にはどういったことをイメージしているかとの質疑については、執行機関から、千代田区の観光施策を進めていくにあたり、面的な広がりを持つことで、単独区ではできない新たな施策の可能性について検討していくとの説明がありました。

質疑の終了後、観光施策について各委員や執行機関から柔軟な意見や提案を聞くため、質疑形式にとらわれない懇談会を実施しました。



予算特別委員会

平成25年度補正予算審査

今定例区議会に提出された平成25年度一般会計補正予算の1議案は、全議員で構成する予算特別委員会を設置し、審査しました。

補正予算の内容は、湯河原千代田荘の借り上げに関する経費233万2千円、住民税の還付に要する経費470万円、都市型軽費老人ホーム整備事業助成に関する経費120万円、私立保育所整備補助に要する経費1億637万4千円、そして私立児童クラブ整備補助に要する経費5,542万5千円、合わせて2億8,925万1千円を計上するものです。

質疑を終了し、討論を終え採決を行ったところ、本案は賛成多数により可決すべきものと決定しました。

補正予算案に関する討論

〔反対の意見〕

保養施設は、効率的な運営が求められることはいままでもないが、単なるホテル、旅館業とは違い、区民の健康増進を図るという行政目的を持っている。保養施設から湯河原千代田荘を外すことは、区の保養施設事業の後退を示す。また、このことは保養施設事業の全面撤退に向けた一歩になりかねない。専門家による区保養施設運営に関する意見書では、保養施設等民間と競合する公的施設は早期に廃止し、民営化その他の合理化を行うこととする旨の閣議決定を紹介したうえで、保養施設の撤退を提言している。このままでは、行政が保養施設事業から全面的に撤退しかねない危惧がある。よって反対する。(木村)

〔賛成の意見〕

指定管理者による管理をやめるだけでなく、暫定的な措置としての業務委託方式から借り上げ方式へと早期に移行し、財政負担の軽減を図ることは、議会の総意であった。今回、執行機関が当初示された補正予算案を訂正し、議会の意向に沿った内容に変えて提案してきたことは十分評価することができる。また、既存の認証保育所を認可保育園へ変更して定員を拡充するとともに、新たに児童ク

メールアドレス kugikai@city.chiyoda.lg.jp

ホームページアドレス <http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

○委員会に送付した陳情(平成25年3月29日～平成25年7月9日)

陳 情 名	送 付 委 員 会
三崎町並びに猿楽町への神田冠称復活に反対し、 区の慎重な対応を求める陳情	生活福祉委員会
神田保育園の移転に伴う仮園舎の再利用について の陳情 ※公共施設整備特別委員会設置により企画総務委員会から送付替え	公共施設整備 特別委員会



ラブを設置し、一時預かり保育を開始することとは、共働き世帯の要望に応えるものである。今後も区民ニーズを的確に捉えるとともに、議会からの指摘事項に対し、迅速かつ適切に対応することを求め、賛成する。
(高山)

今定例区議会で可決した意見書(全文)

軽度外傷性脳損傷者に関する労災認定基準の改正と教育機関への啓発・周知を求める意見書

(7/9可決)

「軽度外傷性脳損傷(略称MTBI)」は、交通事故や高所からの転落・転倒、スポーツ外傷などにより、頭部に衝撃を受け、脳内の情報伝達を担う神経線維「軸索」が断裂するなどして発症する病気です。

2007年、世界保健機関(WHO)の報告によれば、年間100万人の患者が発生していると推測されており、その対策が求められています。WHOの報告から累計患者数を推計すると、日本には過去20年間で数十万人の患者がいると考えられています。しかし、この病気は、MRIなどの画像検査では異常が見つかりにくいいため、労災や自賠責の補償対象にならないケースが多く、働けない場合には、経済的困窮状態に追い込まれるケースも多々あるのが現状です。

特に、通学路での交通事故やスポーツ外傷が多発している昨今、子どもたちがMTBIを発症する可能性も高くなっています。

よって、千代田区議会は政府に対し、これらの現状を踏まえ、次の事項について、適切な措置を講じられるよう強く求めるものです。

記

1・軽度外傷性脳損傷のため働けない場合、労災の障害(補償)年金が支給できるよう、労災認定基準を改正すること。

2・労災認定基準の改正にあたっては、不正を防止するため、画像に代わる外傷性脳損傷の判定方法として、他覚的・体系的な神経学的検査方法を導入すること。

3・教育機関への啓発・周知を図ること。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

(送付先) 内閣総理大臣・文部科学大臣・厚生労働大臣

平成25年第2回定例区議会会期日程

月/日	本会議・委員会関係へ会期16日間▽
6/24	議会運営委員会 本会議(会期の決定・区長招集あいさつ等)
25	議会運営委員会
27	議会運営委員会 本会議(代表質問・一般質問)
28	議会運営委員会 本会議(一般質問・議案の付託等) 予算特別委員会
7/1	企画総務委員会 生活福祉委員会 環境文教委員会
2	予算特別委員会
3	公共施設整備特別委員会 駅及び駅周辺環境整備特別委員会 商工観光施策特別委員会
4	議会運営委員会(未開催)
5	企画総務委員会 生活福祉委員会 環境文教委員会
8	議会運営委員会
9	議会運営委員会 本会議(議案の議決等)

※各委員会では、議案の審査や担当する事項の調査、請願・陳情の審査等を行っています。

4月～6月の主な活動

日	程
4/23	災害対策特別委員会 議会運営委員会 企画総務委員会 生活福祉委員会 環境文教委員会
5/13	議会運営委員会 (平成25年第1回千代田区議会臨時会告示日) 企画総務委員会 駅及び駅周辺環境整備特別委員会 (仮称)高齢者総合サポートセンター調査特別委員会
17	議会運営委員会
20	平成25年第1回千代田区議会臨時会 公共施設整備特別委員会 駅及び駅周辺環境整備特別委員会 商工観光施策特別委員会
24	議会運営委員会 企画総務委員会 生活福祉委員会 環境文教委員会
27	生活福祉委員会
29	議会運営委員会
6/7	企画総務委員会 生活福祉委員会 環境文教委員会
10	区民集会運営協議会
17	議会運営委員会 (平成25年第2回千代田区議会定例会告示日)
21	議会運営委員会

メールアドレス kugikai@city.chiyoda.lg.jp

ホームページアドレス <http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>



<http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>



区議会ホームページでは、本会議終了後、「議案の審議結果など」のコーナーには各議員の賛否を一覧表にした議決結果を、「提出した意見書 要望書など」のコーナーには、国等へ提出した意見書や要望書を掲載しています。

また、「区議会日程」のコーナーには、本会議・各常任委員会等の開会予定に加えて、委員会の会議録及び資料を速報版として掲載しています。（速報版は、校正中のため、正式な会議録とは異なる場合があります。）

更に、「区議会メールマガジン」を発行し、定例区議会開会のお知らせや概要等、議会の最新情報をお届けしています。

詳しくは区議会ホームページをご覧ください。

定例区議会の速報は

区議会ホームページで！



区議会図書室の
図書も閲覧できます

区議会には、議会活動や議員の調査・研究のために、図書室が設置されています。蔵書は、議会や行政に関する図書を中心に収集しており、区議会ホームページから図書の目録を検索することができます。

区民の皆さんのご利用をお待ちしております。

《利用方法》

閲覧には、事前の予約が必要です。希望される方は、電話または区議会ホームページの「資料閲覧受付フォーム」で予約してください。担当からご連絡いたします。

（定例区議会開会中等は、閲覧のご希望に沿えない場合があります。）

《閲覧予約先》

区議会事務局調査係

TEL 5 2 1 1 - 4 2 9 7

デジタル写真館

区議会だよりの1面にデジタル写真館を開設しています。

このコーナーに掲載する、区内に在住・在勤・在学の皆さんが撮影した写真を募集します。

区内の風景や草花等、心なごむ作品をE-mailでご応募ください。

E-mail： kugikai@city.chiyoda.lg.jp

問い合わせ 千代田区議会事務局調査係

TEL 5 2 1 1 - 4 2 9 7

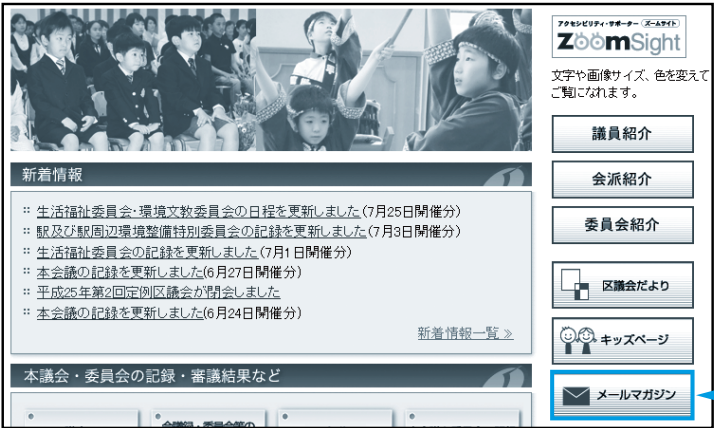


メールマガジンを申し込んでみませんか！

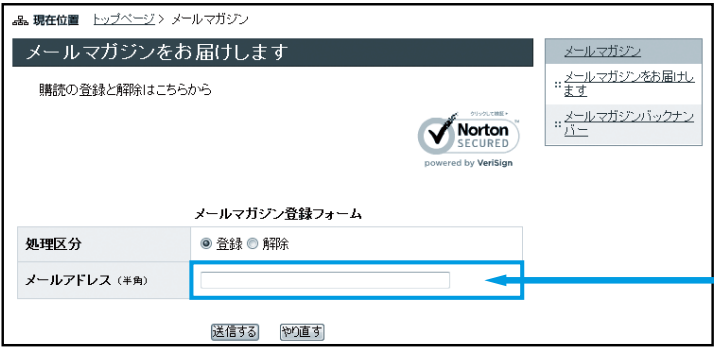
区議会では、議会の最新情報をお届けする「区議会メールマガジン」を発行しています。お申し込みはとても簡単です。

区議会Webサイト（ホームページ）の「メールマガジンをお届けします」のコーナーからメールアドレスをご登録ください。

お待ちしております。



「メールマガジン」をクリック



「メールアドレス」を半角で入力

メールアドレス kugikai@city.chiyoda.lg.jp

ホームページアドレス <http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

◇ 議案の審議結果等（平成25年第2回定例区議会） ◇

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥

議 案 名 等		議 員 名 等					議決結果	1 うさみ 正記 行革ク	2 林 則行 千代田	3 河 合郎 千代田	4 は やお 恭一 千代田	5 高 澤秀 行千代田	6 安 岡けんじ 行革ク	7 永 田壮一 自民	8 内 田直之 自民	9 嶋 秀彦 自民	10 小 林たかや 声	11 寺 沢文子 声	12 岩 佐りよう 子民主	13 欠 員	14 大 串ひろやす 公明	15 山 田ながひで 公明	16 小 林やすお 自民	17 松 本佳子 自民	18 桜 井ただし 自民	19 飯 島和子 共産	20 木 村正明 共産	21 中 村つねお ネット	22 高 山はじめ 自民	23 戸 張孝次郎 自民	24 鳥 海隆弘 自民	25 石 渡伸幸 自民	議決月日
議員提出議案	軽度外傷性脳損傷者に関する労災認定基準の改正と教育機関への啓発・周知を求める意見書	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/9
区長提出案件	平成25年度千代田区一般会計補正予算第1号	24	23	21	2	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	7/9
	千代田区立高齢者在宅サービスセンター条例を廃止する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/9
	災害対策用備蓄物資（食料）の購入について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/9
	区立神田一橋中学校改修工事請負契約について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/9
	区立神田一橋中学校改修電気設備工事請負契約について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/9
	区立神田一橋中学校改修給排水・空調設備工事請負契約について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/9
	損害賠償請求事件に係る訴えの提起について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/9
	千代田区民保養施設条例の一部を改正する条例	24	23	21	2	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	7/9
報告	平成24年度千代田区一般会計予算の繰越明許費に係る歳出予算の繰越しについて																														6/28		
東京都後期高齢者医療広域連合議会議員選挙候補者について （指名推選）		候補者 河合 良郎 議員																															

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数24名 欠員1名

平成25年第3回定例区議会は
9月19日(予定)から開催します

本会議や委員会は、どなたでも傍聴することが出来ます。

開催当日、本会議は区役所8階の傍聴受付、委員会は8階の委員会室で、それぞれ住所と氏名を、ご記入ください。

どうぞ、お気軽にお越しください。

区民集会の開催について

区民集会は、地域の抱える諸課題に対して、区民と区議会が一体となって議論する場として、開催しています。

今回の区民集会は、平成25～26年度の2年間をかけて、議員が地域にお伺いし、課題を区民の皆様と共有して、『災害に つよいコミュニティづくり』『マンションと地域コミュニティ』をテーマに取り組みます。

今年度は、専門家をお招きした講演と意見交換を行います。

日時 平成25年10月28日(月)
午後6時30分～

会場 千代田区議会議場

テーマ 『災害に つよいコミュニティづくり』『マンションと地域コミュニティ』

講師 防災・危機管理アドバイザー
山村 武彦 氏

主催 区民集会運営協議会

行幸通りからの東京駅

千代田区納涼の夕べ

◆「区議会だより」編集委員長に就任し、総勢9名の委員で2年間編集に携わります。前期の委員会からの懸案事項も多くあり、一つ一つ全員で協議しながら、区民の皆様が親しまれ読みやすく、議会での議論の過程が分かりやすい紙面作りを心掛けてまいります。千代田区の「区議会だより」の特徴は、皆様も読んでお気付きと思いますが、子供達の写真を多く掲載しており、手前味噌ではありますが、親しみの湧く紙面だと思っています。次号からも、より多くの子供達の写真を区内幼稚園・保育園等に伺い、保護者の方の了解をいただき掲載してまいります。（小林や）

◆改選から2年が過ぎ、各常任委員会、特別委員会の構成も変わりました。「区議会だより」の編集委員会も新たなメンバー構成となり、初めての発行を迎えることとなりました。第2回定例会号の発行にあたっても多く議論を踏まえ、特に写真掲載の取扱い、被写体の内容について議論が交わされました。これからも、前編集委員会からの引き継ぎ事項を踏襲しつつ、新たな提案をしながら、区民・読者の皆様に、より一層見やすくわかりやすい「区議会だより」となりますよう委員一同努めてまいります。

（高澤）

編集後記